

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

岐阜市中心部地区

平成31年3月

岐阜県岐阜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4－① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	主要地点歩行者通行量	人/日	34,067	37,200	34,452	確定	△	あり	33,464	平成29年7月 平成29年11月 (調査月)	△	7月調査は、調査直前まで雨天であった。また、11月調査は、時折雨が降り、風が強い天候であった。調査日が両日とも悪天候であったことから、当日の歩行者数が減少したものと考えられる。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	平成29年は天候に恵まれず、評価値を下回る結果となった。しかしながら、計画年始の平成26年から平成28年は、対象13地点の歩行者通行量は増加傾向にあり、目標値は達成しなかったものの各種道路の修景整備や公共サインの設置による一定の効果があったものと考えられる。今回のように、歩行者通行量調査の結果は天候などに大きく左右されるケースがあるため、今後はこれによらない評価指標について検討する必要がある。
						見込み		なし						
指標2	柳ヶ瀬地区新規出店舗数	店	9	11	12	確定	○	あり	13	平成30年4月	○	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	みんなの森 ぎふメディアコスモス及び憩いにぎわい広場(みんなの広場 カオカオ等)が完成し、中心市街地に新たなにぎわい拠点が生まれた。新たなにぎわい拠点によって中心市街地の集客力が高まるなか、柳ヶ瀬地区においても事業者の出店意向が高まり、当該地区の新規出店舗数が目標値11店舗(5年平均)を上回ったものと考えられる。
						見込み		なし						
指標3	観光入込客数	人/年	521,709	525,000	596,000	確定	○	あり	596,084	平成30年11月 (県統計公表時期)	○	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	御船街道や金華地区の道路の修景整備を実施するとともに、市民・来訪者が行き交う長良川沿線にプロムナードを整備したことで、観光地としての魅力が向上し、対象3施設の観光入込客数が目標値52.5万人/年を上回ったものと考えられる。
						見込み		なし						
指標4	にぎわい拠点施設利用者数	人/年	0	600,000	1,347,000	確定	○	あり	1,349,430	平成30年4月	○	市民ニーズに合ったにぎわい拠点施設(みんなの森 ぎふメディアコスモス及び長良川防災・健康ステーション)を整備したことで、年間利用者数が当初の想定を大きく上回ったものと考えられる。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市民ニーズに合った施設整備を実施したことにより、目標値60万人/年を大きく上回る利用者数を達成することができた。みんなの森 ぎふメディアコスモスや憩いにぎわい広場(みんなの広場 カオカオ等)では、年間を通して様々なイベントを開催しており、開館から3年以上経過した現在も、中心市街地の新たなにぎわい拠点として機能している。
						見込み		なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	事業実施箇所近辺の歩行者通行量	人/日	4,315	5,900	5,900	確定	/	/	3,828	平成29年7月 平成29年11月 (調査月)	△	7月調査は、調査直前まで雨天であった。また、11月調査は、時折雨が降り、風が強い天候であった。調査日が両日とも悪天候であったことから、当日の歩行者数が減少したものと考えられる。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	指標1と同様、平成29年は天候に恵まれず、評価値を下回る結果となった。しかしながら、事業箇所周辺の6地点における平成27年、平成28年の歩行者通行量は従前値を上回る結果となっており、各種道路の修景整備や公共サインの設置による一定の効果があったものと考えられる。歩行者通行量調査の結果は天候などに大きく左右されるケースがあるため、今後はこれによらない評価指標について検討する必要がある。
						見込み		/						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	更なる中心市街地の活性化に向けた、新たなにぎわい 拠点の活用	○みんなの森 ぎふメディアコスモスや憩い・にぎわい広場（みんなの広場 カオカオ等）にて各種イベントを実施【継続中】	・毎年、みんなの森 ぎふメディアコスモスで開催している「新春美術館」の入場者数は約5千人（平成29年度）、みんなの広場 カオカオを含む7会場を舞台に開催している「さんぽde野外ライブ」の入場者数は約4.6千人（平成29年度）となっている。ともに来場者数は年々増加しており、集客力の高いイベントに成長している。	・みんなの森 ぎふメディアコスモスや憩い・にぎわい広場（みんなの広場 カオカオ等）では年間を通じて様々なイベントを開催しており、中心市街地を代表するにぎわい拠点として発展を見せている。今後も、当該施設の更なる活用によるにぎわいの創出を図っていくとともに、岐阜駅周辺、柳ヶ瀬地区、主要観光地と一体となって中心市街地の魅力を高め、中心市街地全体の活性化を図っていく必要がある。
	更なる魅力的な都心生活圏の創出に向けた、都市機能の集約	○市街地再開発事業（岐阜駅東地区）【平成30年度完成】 ○市街地再開発事業（高島屋南地区）【継続中】 ○市民交流センターの整備【継続中】	・市街地再開発事業（岐阜駅東地区）により、再開発ビル「岐阜イーストライジング24」が平成31年1月に完成した。当該ビルには住宅、福祉施設のほか、商業施設が入る予定である。 ・旧加納町役場跡地に市民交流センターの整備を予定しており、現在、設計中である。	・当該地区は岐阜市立地適正化計画（H29.3策定）の都市機能誘導区域及び居住誘導区域内に位置する。左記の岐阜イーストライジング24や市民交流センターのほかにも、市街地再開発事業（高島屋南地区）により開発される高層ビルの一部に子育て支援センターを整備する予定であり、同センターの設計を平成31年度より着手する。魅力的な都心生活圏の創出に向けて、これらの整備を着実に進めるとともに、更なる都市機能の充実を図っていく必要がある。

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩いて出かけたいくなる中心市街地の形成	○都市再生総合整備事業（東街区歩行用デッキ整備）【平成30年度完成】 ○市街地再開発事業（岐阜駅東地区）【平成30年度完成】 ○市街地再開発事業（高島屋南地区）【継続中】 ○道路空間の整備（市道司町1号線2号線整備事業）【継続中】 ○レンタサイクル事業【継続中】	・住宅・福祉・商業機能が備わる岐阜イーストライジング24の完成に併せて、当該ビルと岐阜駅間を結ぶ歩行者用デッキが完成した。駅周辺における都市機能の拡充とそれらにアクセスしやすい環境整備を行ったことで、歩いて出かけたいくなる中心市街地の形成に寄与することが期待される。 ・ぎふ・まちなかレンタサイクルは利用件数が年々増加している。計画年始の平成26年度に約17.1千件/年であった利用件数は、平成29年度に約20.5千件/年まで伸びており、3年間で約16%の増加となっている。中心市街地内を移動する市民や来訪者の利便性・回遊性が高まっていることが推察される。	・歩行者空間の整備を推進するとともに、歩いて利用できる生活サービス施設の充実を図るため、中心市街地における市街地再開発事業等を着実に進めていく。また、ぎふ・まちなかレンタサイクルにおいても、より一層利用しやすい環境を整備して、市民にとっても来訪者にとっても歩いて出かけたいくなる中心市街地の形成を図っていく必要がある。
	中心市街地の商業地としての魅力の向上	○中心市街地活性化空き店舗活用事業【継続中】 ○中心市街地活性化プロデュース事業【継続中】	・柳ヶ瀬地区では、出店希望者を対象とした空き店舗ツアーや専門的知識を有する商工会議所相談員の経営相談のほか、店舗賃借料の助成などに取り組んでいる。ここ5年間（平成26年以降）は、毎年10店舗以上の新規出店があり、商業地としての魅力が高まりつつある。	・中心市街地の商業地として魅力を高めていくため、今後も柳ヶ瀬地区を中心に継続的に空き店舗等の活用による新規出店の促進を図っていくとともに、柳ヶ瀬地区の再生・活性化を推進していくための新たな取り組みを検討していく必要がある。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
特になし			

都市再生整備計画(第6回変更)

岐阜市中心部地区

岐阜県 岐阜市

平成29年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	岐阜市中心部地区	面積	248 ha
計画期間	平成26年度～平成29年度	交付期間	平成26年度～平成29年度				

目標
■岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、金華山エリアへの回遊性を向上させ、柳ヶ瀬やぎふメディアコスモスを中心としたにぎわいを創出し、中心市街地全体の活性化につなげる。 ■歴史文化あふれるまちを守りながら、長良川防災・健康ステーションなどの新しいにぎわい施設を整備し、都市機能の再構築を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
■歴史的経緯と問題点 本地区は岐阜市の中心市街地にあつて、戦災復興区画整理に始まる様々な基盤整備事業により、県都の政治的・経済的な中枢地域として発展してきたが、商業施設などの郊外化により都心部の空洞化が進行していることから、現在2期岐阜市中心市街地活性化基本計画を策定し、岐阜駅前の問屋町から柳ヶ瀬にかけての商業エリアの活性化に取り組んでいるところである。 戦国武将織田信長ゆかりの地であり、市の中心部には、当時の城下町や番目の宿場町である中山道加納宿の風情が色濃く残されており、歴史文化薫るまちづくりと都市機能の集約化による中心市街地の活性化を両立する必要がある。 ■第1期及び第2期計画について（岐阜市都心北部地区と岐阜都心地区） 第1期計画、第2期計画では、長良川鶴飼ゾーンの観光資源の整備やぎふメディアコスモスなどの地域交流拠点施設の整備を行い、さらに柳ヶ瀬等へとネットワークで結び、地区全体としての回遊性を高めようとした。 さらに、まちなか居住を強力に推し進めるため、新たに中学校を整備し、通学距離の大幅な改善を行うなど、地域生活の核となる施設の整備を進めてきたところであるが、地域交流拠点施設の整備を進め、都市機能の集約化を進めつつ、スマートウエルネスシティ（SWC）総合特区に関連した事業と連携し、回遊性の向上、歴史文化を生かした個性的なまちづくりによるにぎわいの創出が求められている。
課題
■商業業務ゾーンの再生と観光拠点の整備による交流人口の増加と市街地の活性化 ■魅力的な都心生活圏の創出による交流人口の増加とコミュニティの再生 ■歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進
将来ビジョン（中長期） （岐阜市総合計画2013） ・「まちの顔」を形成するJR岐阜駅周辺から岐阜大学医学部等跡地までのにぎわい景観や生活環境に調和した景観を形成します。 ・金華山や長良川などの自然と歴史的まちなみ、現代的まちなみが調和した美しい眺望景観を形成します。 ・「つかさのまち夢プロジェクト」などを推進し、岐阜大学医学部等跡地周辺のにぎわいを創出します。 ・柳ヶ瀬とJR岐阜駅周辺、岐阜大学医学部等跡地周辺の回遊性を高めるため、まちなか歩きの推進や歩行空間、自転車歩行空間の整備などに取り組みます。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
主要地点歩行者通行量	人/日	地区内の事業箇所近傍13地点におけるある一日の通行者数	端的ににぎわいの度合いを示し、まちの回遊性の向上を測る指標	34,067	(H24年度)	37,200	(H29年度)
柳ヶ瀬地区新規出店舗数	店舗数	柳ヶ瀬地区に新規に出店する店舗数	まちのにぎわい度や中心部の活性化の度合いを示す指標	9	(H23年度)	11	(H29年度)
観光入込客数	人/年	地区内及び隣接の主要観光3施設の年間入込客数	観光地としての魅力を示し、歴史文化薫るまちづくりを図る指標	521,709	(H24年度)	525,000	(H29年度)
にぎわい拠点施設利用者数	人/年	ぎふメディアコスモス及び長良川防災健康ステーション利用者数	交流拠点施設の整備による賑わいの創出を示す指標		(H25年度)	600,000	(H29年度)

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
■岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、金華山エリアへの回遊性を向上させ、柳ヶ瀬やぎふメディアコスモスを中心としたにぎわいを創出し、中心市街地全体の活性化につなげる。		■基幹事業 ・道路：岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業 ・道路：新庁舎周辺道路整備事業 ・地域生活基盤施設（広場）：憩い・にぎわい広場整備事業 ・地域生活基盤施設（情報板）：公共サイン整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：御膳街道整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：ゆとり・やすらぎ道空間事業（金華地区） ・高質空間形成施設（植栽、歩道整備等）：岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、植栽等）：長良川プロムナード整備事業 ・高次都市施設（地域交流センター）：みんなの森　ぎふメディアコスモス □提案事業 ・地域創造支援事業：みんなの森にぎわい創出事業 ◆関連事業 ・暮らし・にぎわい再生事業（岐阜大学医学部等跡地地区） ・都市再生総合整備事業（岐阜駅周辺地区） ・街路事業（岐阜駅高富線　梶川工区） ・効果促進事業（まちなか歩き支援事業）
	■歴史文化あふれるまちを守りながら、長良川防災・健康ステーションなどの新しいにぎわい施設を整備し、都市機能の再構築を図る。	■基幹事業 ・地域生活基盤施設（広場）：憩い・にぎわい広場整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：ゆとり・やすらぎ道空間事業（金華地区） ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：御膳街道整備事業 ・高次都市施設（地域交流センター）：みんなの森　ぎふメディアコスモス □提案事業 ・地域創造支援事業：（仮称）既成市街地再編整備事業 ・地域創造支援事業：立体換地制度を活用した市街地再編整備事業 ・地域創造支援事業：岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業 ◆関連事業 ・高島屋南地区市街地再開発事業 ・岐阜駅東地区市街地再開発事業 ・岐阜公園再整備事業 ・国直轄河川事業（長良川岐阜河川防災ステーション）

その他

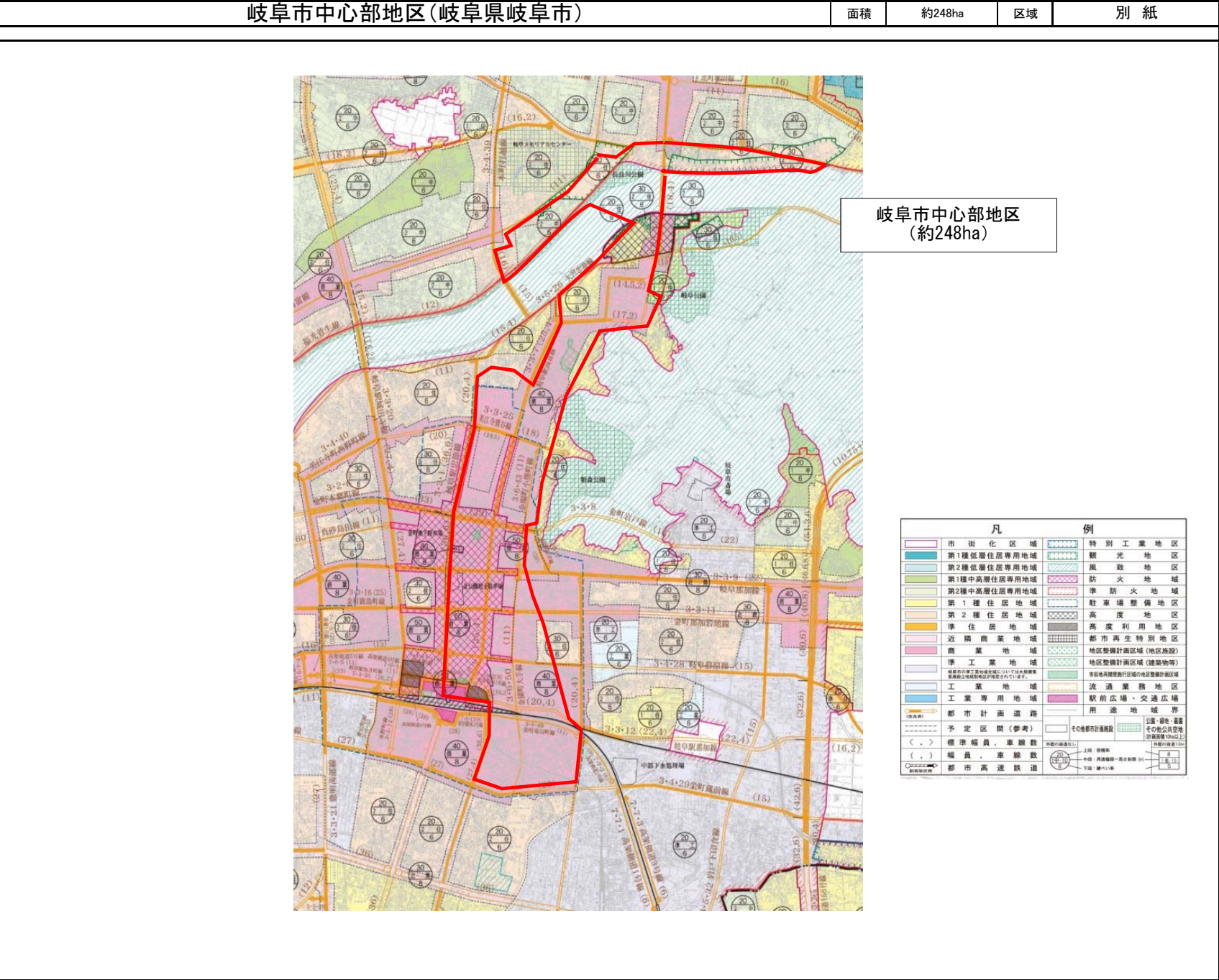
交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,631	交付限度額	652.4	国費率	0.400
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
	細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
基幹事業	道路	岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	岐阜大学医学部等跡地周辺	岐阜市	直	L=340m	22	26	26	26	262	262	262		262
		新庁舎周辺道路整備事業	市道司町1号線、司町2号線	岐阜市	直	L=320m	29	32	29	29	346	44	44		44
	地域生活基盤施設(広場)	憩い・にぎわい広場整備事業	岐阜市	直	1.2ha	22	27	26	27	1,451	200	200		200	
	地域生活基盤施設(情報板)	公共サイン整備事業	岐阜市	直	N=5基	26	26	26	26	19	10	10		10	
	高質空間形成施設(カラー舗装、照明施設等)	御臨街道整備事業	岐阜市	直	L=1640m	22	28	26	28	180	180	180		180	
	高質空間形成施設(カラー舗装、照明施設等)	ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)	岐阜市	直	L=910m	21	28	26	28	86	86	86		86	
	高質空間形成施設(植栽、歩道整備等)	岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	岐阜市	直	L=340m	22	26	26	26	134	33	33		33	
	高質空間形成施設(カラー舗装、植栽等)	長良川プロムナード整備事業	岐阜市	直	L=650m	27	29	27	29	208	208	208		208	
	高次都市施設(地域交流センター)	みんなの森 ぎふメディアコスモス	岐阜市	直	0.7ha	16	28	26	28	1,785	221	221		221	
	合計									4,471	1,244	1,244		1,244	
	提案事業														
	提案事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費
細項目		開始年度	終了年度					開始年度	終了年度	うち官負担分	うち民負担分				
地域創造 支援事業		(仮称)既成市街地再編整備事業	玉宮町周辺	岐阜市	直	約100ha	21	27	26	27	10	10	10		10
		立体換地制度を活用した市街地再編整備事業	玉宮町周辺	岐阜市	直	0.2ha	28	29	28	29	8	8	8		8
		岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業	長良川堤敷	岐阜市	直	約1000㎡	26	27	26	27	312	312	312		312
		みんなの森にぎわい創出事業	岐阜市中心部地区	岐阜市	直	—	26	29	26	29	52	52	52		52
事業活用調査		事業分析調査	岐阜市中心部地区	岐阜市	直	—	26	29	29	29	5	5	5		5
合計									387	387	387		387		
														合計(A+B)	1,631

[illegible]



区 域	早田東町1丁目、早田東町2丁目、早田東町3丁目、早田東町4丁目、早田東町5丁目、堤外、元浜町、玉井町、東材木町、西材木町、今町1丁目、今町2丁目、今町3丁目、今町4丁目、伊吹町1丁目、伊吹町2丁目、上茶屋町、木挽町、山口町、下茶屋町、上大久和町、上新町、大仏町、益屋町、魚屋町、中新町、久屋町、中大桑町、蜂屋町、大工町、布屋町、松ヶ枝町、梶川町、靱屋町、上竹屋町、大和町、間之町、中竹屋町、米屋町、白木町、常磐町、笹土居町、金屋町1丁目、金屋町2丁目、美園町1丁目、美園町2丁目、若宮町2丁目、若宮町3丁目、西園町、高岩町、東高岩町、川端町、朝日町、下太田町、秋津町、上太田町1丁目、上太田町2丁目、室町、下竹町、上竹町、泉町、司町、美江寺町1丁目、伊奈波通2丁目、伊奈波通3丁目、本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目、一番町、二番町、三番町、美殿町、御浪町、七軒町、栄扇町、松屋町、緑町、柳町、金園町1丁目、元住町、幸ノ町1丁目、幸ノ町2丁目、吉野町1丁目、吉野町2丁目、吉野町3丁目、吉野町4丁目、吉野町5丁目、高砂町3丁目、高砂町4丁目、鷹見町、小熊町1丁目、小熊町2丁目、端詰町、住吉町、弥八町、弥生町、若宮町4丁目、若宮町5丁目、今沢町、今小町、八ツ寺町1丁目、八ツ寺町2丁目、北八ツ寺町、江川町、杉山町、小柳町、日ノ出町1丁目、日ノ出町2丁目、柳ヶ瀬通1丁目、柳ヶ瀬通2丁目、柳ヶ瀬通3丁目、神室町1丁目、神室町2丁目、徹明通1丁目、徹明通2丁目、吉津町1丁目、吉津町2丁目、霞町、金宝町1丁目、金宝町2丁目、八幡町、蕪城町、玉宮町1丁目、玉宮町2丁目、西玉宮町1丁目、西玉宮町2丁目、神田町1丁目、神田町2丁目、神田町3丁目、神田町4丁目、神田町5丁目、神田町6丁目、神田町7丁目、神田町8丁目、神田町9丁目、神田町10丁目、羽根町、玉森町、県町1丁目、県町2丁目、長旗町1丁目、長旗町2丁目、東金宝町1丁目、長住町1丁目、長住町2丁目、長住町3丁目、長住町4丁目、住田町1丁目、住田町2丁目、住ノ江町1丁目、住ノ江町2丁目、清住町1丁目、清住町2丁目、清住町3丁目、高砂町1丁目、高砂町2丁目、加納西広江町1丁目、加納西広江町2丁目、加納清田町、加納大石町、加納天神町1丁目、加納天神町2丁目、加納本町1丁目、加納本町2丁目、加納南広江町、加納中広江町、加納徳川町、加納北広江町、加納東広江町、松鴻町1丁目、松鴻町2丁目、松鴻町3丁目、松鴻町4丁目、加納新柳町、加納新町、安良田町4丁目、安宅町1丁目、安宅町2丁目、加納東陽町、長良丘1丁目、長良丘2丁目の全部と 早田、早田東町6丁目、長良福光、湊町、上材木町、下大桑町、甚衛町、松下町、矢島町1丁目、矢島町2丁目、伊奈波通1丁目、大宮町1丁目、大宮町2丁目、若宮町1丁目、明德町、金園町2丁目、柳生町、御杉町、西野町1丁目、美江寺町2丁目、美園町3丁目、美園町4丁目、元町1丁目、元町2丁目、元町3丁目、元町4丁目、元町5丁目、金町1丁目、金町2丁目、金町3丁目、金町4丁目、金町5丁目、金町6丁目、金町7丁目、金町8丁目、東金宝町2丁目、橋本町1丁目、加納桜道1丁目、加納桜道2丁目、加納大手町、加納上本町1丁目、加納上本町2丁目、加納柳町、加納東丸町1丁目、竜田町8丁目、竜田町9丁目、安良田町1丁目、安良田町2丁目、安良田町3丁目、安良田町5丁目、長良の一部
-----	---